

トヨタハートフルプラザ横浜の福祉車両・車いす体験授業

ウエインズトヨタ神奈川

ウエインズトヨタ神奈川 加えた。

(宮原漢二社長、横浜市中区)は、同社が運営するトヨタハートフルプラザ横浜が中心となって、小学生向けの福祉車両・車いす体験授業を積極的に実施している。学校の先生では教えきれない専門性の高い授業を行うことで、児童の深い学びにつなげている。2011年以降、横浜市立小学校高学年を対象に出前授業を行い、22年度までに169校、1万4970人の児童が授業を受けた。23年度からは川崎市立小学校も対象に

車いす体験授業では、自分で操作する方法や目線の高さなどの理解を深める「自走体験」に加え、車いすの介助方法や被介助者の気持ちへの理解を深める「介助体験」を実施している。



同社が実施する授業のプログラムでは、代表者に限らず児童全員が実体験することで得られる「気付き」を重視する。授業を受けた後、高齢者や障がい者、健常者がともに生きていくために「今後自分たちに何ができるのか」などについて考えられるような内容とし、学校には必ず振り返り授業の実施を勧めて

小学生向けに福祉や介護の実体験



いる。

同社のこの取り組みの結果、小学校や社会福祉協議会からの授業依頼が増え、地域とのつながりが強くなった。また授業を受けた児童が福祉車両に興味を持ち、店舗に家族そろって来場する例も生まれている。

【受賞者コメント】

この度はSDGs 貢献賞に選定いただき誠にありがとうございます。弊社の地域貢献活動の1つである福祉体験授業を通じて、子ども達に社会福祉についての学びの場を提供できることをスタッフともども大変誇りに思っております。これからも社内スローガンである「新しいうれしい！をつくる」の実現に向け、地域課題の解決に向けて皆さまと一緒に取り組み、ともに成長していきたいと思っております。